

令和6年度（2024年度）第2回東海市幼児教育研究協議会会議録

1 会議名 令和6年度（2024年度）第2回東海市幼児教育研究協議会

2 開催日時 令和6年（2024年）12月25日（水）

13：30～14：15

3 開催場所 東海市立商工センター 特別会議室（4階）

4 議題

(1) 事業中間報告

① 公開保育

② 幼稚園と保育園との交流

(2) 協議事項

保育参観・幼児教育研究協議会事業について

(3) その他

5 出席者氏名

幼児教育研究協議委員 10名

| | |
|--------------|-------|
| 養父保育園（副会長） | 平松 好美 |
| 主任児童委員 | 早川あかね |
| 元東海市立保育園長 | 大野久美子 |
| 雨尾幼稚園長 | 荒川 信光 |
| 横須賀小学校長 | 荒木 映 |
| 三ツ池小学校 教務主任 | 牧野 彰人 |
| 木庭保育園長 | 田中 薫 |
| 富木島保育園 主任保育士 | 本山恵巳子 |
| 一番端保育園 主任保育士 | 柳澤 純子 |
| 三ツ池保育園 主任保育士 | 山田真由子 |

事務局

| | |
|-------------|-------------------|
| 幼児保育課長 | 小島 英泰 |
| 幼児保育課 統括主任 | 宇賀神雄也 |
| 幼児保育課 指導保育士 | 川口 満子 |
| 幼児保育課 主任保育士 | 久野えり子 |
| 幼児保育課 | 加藤 郁子 |
| 6 欠席者氏名 | 加藤 雅尚 稲田 由美 小島 悠揮 |
| 7 公開・非公開の別 | 公開 |
| 8 傍聴者の数 | なし |
| 9 発言の内容 | |

(1) 挨拶

幼児保育課長 小島 英泰

幼児教育研究協議会では、小学校での授業参観や、保育園での公開保育、幼稚園と保育園との保育交流などにより、子ども理解を深め、小学校との円滑な接続が図られており、このような接続はとても大切なことだと思います。私も授業参観や公開保育に参加させていただきました。また、特別支援児は今年度130人を超えて受け入れをしています。来年度は、140人を超すと予想しています。このような中で、さらなる情報共有が大切となります。本日は委員さんから意見を出していただき進められたらと思います。

本日は、各事業の中間報告や今後の協議会のスケジュールについて議題に上がっています。また、協議会の後は研修会も予定されていますので、ご意見や情報交換など活発に行っていただければと思います。

幼児教育研究協議会 副会長 平松 好美

幼児教育研究協議会では5月の授業参観や夏から秋にかけて行われた公開保育の時に、幼・保・小の様々な立場の人で協議し、意見交換してき

ました。子どもの自主性や保育者の環境設定について考えたり、保育の振り返りの必要性等を学んだりしました。幼児教育の資質・能力は小学校教育の資質・能力につなげていくという考えのもと、子どもの成長にとって実り多きものになるよう連携をとっていきたいと思います

(2) 事業中間報告

① 公開保育について 資料に添って事務局より報告する。

愛知県幼児教育研究協議会および愛知県教育委員会より、幼児期に育まれる資質・能力を小学校以降につなげるため、令和2年度から4年度にかけてリーフレットおよび事例集が作成されている。例として今回は大田保育園の公開保育の実践を、令和2年度のリーフレットを参考にまとめて、現在育ちつつある資質・能力を整理してみた。

実践より「保育者が着目したポイントとなる具体的な姿」から「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿の読み取り」をし、3つの資質・能力に当てはめて整理することで、「幼児期において、一体的に育まれる資質・能力」を考えることができる。

資料の図の様式は1月と2月に実施する保育参観の資料となるドキュメンテーションにも導入する予定である。

② 幼稚園と保育園との交流について

交流した幼稚園・保育園ともに充実したよい時間を過ごすことができたと報告を受けている。(資料参照)年明けにも交流をする園がある。

(2) 協議事項

① 保育参観について

- ・ 保育参観の参考資料として、保育園からは資質・能力を整理したドキュメンテーション・教育指針より「おおむね6歳」を添付している。架け橋期を考える時に、小学校からの資料として、教育のつながりのわかるものを添付できればと考え昨年度同様「スタートカリキュラム」を添付しようと思うがご意見をお願いします。

→ よいと思う

- ・ 新型コロナウイルスおよびインフルエンザの感染により、クラス閉鎖し保育参観が難しい場合は協議のみの開催を考えている。資質・能力を整理したドキュメンテーションに担当保育士からの説明を加えてもらい、協議の視点である「協同性の中で育っている力・育てたい力」「就学後どのような力につながり入門期を過ごすのか」について保育参観実施園にて意見交換したいと考えている。

→他機関の保育・教育者と意見交換をする機会はとても貴重であるため、クラス閉鎖があったとしても、できる範囲で情報交換していきたい。クラスが閉鎖になっても関係者が学ぶ機会を持つことが望ましいと思う。

→今年度保育参観を実施する。昨年度は保育園から提出したドキュメンテーションから、三つの資質・能力を捉えた。この協議は子ども理解につながったと思う。地域の小学校の先生にはたくさん参加していただきたい。

② 幼児教育研究協議会事業について

<交流授業 各機関の感想と課題>

- ・ 昨年度は小学校区の保育園児が小学校に集まり2回交流を行った。タブレットを使った授業を参観させてもらい驚いたり、トイレの使い方を児童から教わったりしたことで安心感につながったと思う。
- ・ 主任保育士と小学校教務主任とが調整を取り進めた。ドキュメンテーションを小学校に持って行き、先生に手渡ししたり、プールの授業を見せてもらったりした。また小学校のルールを高学年児童が教えてくれたりした。
- ・ 小学校で“ありがとうプロジェクト”があった際に児童に質問する機会があったので、より一層学校への期待や安心感につながった。

- ・ 小さいうちから小学校の校庭まで散歩に行ったり、校庭の隅で木の実を拾わせていただいたりしているため、小さいうちから親しみがあり、小学校は安心できる場になっていると思う。
- ・ 放課の時間帯に出かけ、様子を見ることで“小学校は勉強ばかりするのではなく遊ぶ時間（放課）もある”ことを知り、安心する様子があった。
- ・ 継続して見学等の機会を持てるとよいと思う。
- ・ 幼稚園は学区が多様のため、一律に交流することは難しい。保育園との交流の際、小学校が近隣にあれば一緒に見学できるとよい。
- ・ 小学校に来て、見たり聞いたりして安心してもらえるのはありがたい。1年生も保育園児が来てくれるということで、お兄さんやお姉さんになる意識が芽生えると思う。

(3) その他

① 第3回幼児教育研究協議会について

日時 令和7年2月18日（火）15：00

場所 市役所501

案内文は後日送付します。

- #### ② 公開保育実施園が研究紀要の作成に取り組んでいる。完成したら各機関に送付する。

以上

議事録作成者 幼児保育課 加藤 郁子
議事録確認委員 会長 加藤 雅尚